

平成31年度 特殊無線技士養成課程 受講のご案内

公益財団法人 日本無線協会近畿支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町一丁目3番5号

TEL 06-6942-8886

FAX 06-6941-6430

●募集する養成課程

海上、航空及び陸上関係特殊無線技士養成課程の受講者を募集します。

実施日程：別紙1をご覧ください

実施場所：公益財団法人 日本無線協会近畿支部 10階会議室

募集定員：47名

●受付期間・方法

受講申込みの受付期間は、講習日の2ヶ月前（月初め）から10日前までです。

受講申込みは、受講申込書の到達順又は直接窓口に提出された順に受け付け、募集予定人員に達した場合は、受付期間内であっても締め切らせていただきます。なお、受付期間が過ぎても定員に満たない場合は、引き続き受け付けますのでご相談ください。電話による申込みの予約、FAXによる申込みの受け付けは行っておりません。

●受講申込の方法

受講希望者は、「養成課程受講申込書」に必要事項を記入の上、次の書類を添えてお申し込みください。なお、受講申込書は、当協会のホームページから印刷できます。

【送付先】支部の住所等

〒540-0012 大阪市中央区谷町一丁目3番5号

公益財団法人 日本無線協会 近畿支部

TEL06-6942-8886 FAX06-6941-6430

- (1) **写真 縦30mm、横24mm 3枚**（裏面に氏名を記入してください。）
無帽、正面、上三分身（胸から上）、無背景、縁取りのないもので申込前6ヶ月以内に撮影したもの。
- (2) **氏名及び生年月日を証する書類**（これらの書類は、無線従事者免許申請に必要なものです。）
 - (ア) 住民票 1通（コピー不可、個人番号（マイナンバー）が記載されていないものに限る。）
又は、次のものの何れか1通をコピー
無線従事者免許証 電気通信主任技術者資格者証 工事担任者資格者証
（A4用紙の中央部にコピーしたもの）
 - (イ) また、本人の11桁の住民票コードを利用されることで住民票又は無線従事者免許証等のコピーの提出を省略することができます。受講申込書の「住民票コードの利用」の欄の「あり」を○で囲んでください。開講初日に無線従事者免許申請書に記入しますので、コード番号を控えてきてください。
- (3) **証明書 1通**
第一級海上特殊無線技士の申込者で英語免除を希望する方、第二級海上特殊無線技士（短縮コース）の申込者、第一級陸上特殊無線技士の申込者は、その資格を有していることを証明するもの（卒業証明書、履修証明書、経歴証明書、無線従事者資格者証の写し等）が必要です。受講要件等については、別紙1欄外の注1～4をご覧ください。

(4) 切手

修了試験に合格された方は、総務省から無線従事者免許証が郵送されますので、郵送用切手が必要です。普通郵便を希望される方は82円切手、又は一般書留（512円）、簡易書留（392円）などを希望される方は、相当額の切手を同封してください。

●受講料（消費税を含む）、免許申請手数料等及びその支払い

受講料等は、別紙1をご覧ください。なお、10月1日以降の受講料につきましては、消費税10%が適用されます。

- (1) 受講料等（受講料及び免許手数料等を合計した金額）は、原則として、受講日の10日前までに下記の銀行口座へ振込んでください。（振込み手数料はご負担ください。）

【振込先は、ゆうちょ銀行です。】

(ア) ゆうちょ銀行窓口での振込の場合（ゆうちょ銀行備付用紙をご使用ください。）

ゆうちょ銀行振替口座 口座番号 00960-9-152864

加入者 「公益財団法人 日本無線協会近畿支部」

通信欄には、『受講者氏名、受講資格、受講年月日』を記入してください。

(イ) 他の金融機関からゆうちょ銀行に振込の場合

口座番号 〇九九（ゼロキュウキュウ）店（099） 当座 0152864

加入者 「公益財団法人 日本無線協会近畿支部」

通信欄には「受講者氏名又は勤務先」を記入してください。

- (2) 請求書（見積書）が必要な場合は、ご連絡ください。
- (3) 領収書は、銀行振込依頼書をもって代えさせていただきますが、当方の領収書が必要な場合は、ご連絡ください。
- (4) 免許申請手数料等（免許申請手数料1,750円及び免許証郵送用切手。以下同じ。）については、当方において修了試験合格者の免許申請手続きを一括して行うため、あらかじめ受講料と一緒にお預かりしています。このため、修了試験に不合格の場合や受講を取り止めた場合には、免許申請手数料等はお返しします。
- (5) 納入された受講料は、講習開始日の前日までに受講の取消しの申出があった場合は、お預かりした金額から送金手数料を差し引いた額をお返しします。

●修了試験の結果通知

修了試験の結果につきましては、結果通知書を受講者のご自宅あて郵送します。

結果通知書を受講者のご自宅以外に郵送を希望される方は、受講申込みの際に申し出てください。

●受講上の注意

- (1) 申込み受付後に送付された受講票は、講習日には必ずご持参ください。
- (2) 申込み後、都合により受講できなくなった場合は、必ずご連絡ください。
- (3) 欠席や遅刻をしないよう注意してください。（受講時間が不足すると修了試験を受けられません。）
- (4) 講習会場には駐車場・駐輪場がありません。公共交通機関をご利用ください。
- (5) 車椅子をご利用の方は、あらかじめご連絡ください。

別紙1 受講者を募集する養成課程（時間割は別紙2をご覧ください。）

※実施予定日欄の平成31年5月以降の元号については、現時点では元年・2年と表示しています。

資格		実施予定日	受講料等	備考
海上	第一級海上特殊無線技士 注1 (土日の講習はありません。)	2年1月27日(月) ～ 2月4日(火)	79,850円 内訳 受講料 71,000円 消費税 7,100円 免許申請手数料 1,750円	英語免除者 56,420円 内訳 受講料 49,700円 消費税 4,970円 免許申請手数料 1,750円 英語免除の要件 は、欄外の注1を ご覧ください。
	第二級海上特殊無線技士	元年 5月 8日(水) ～ 5月 9日(木)	40,630円 41,350円 10/1 から 内訳 受講料 36,000円 消費税 2,880円 (3,600円 10/1 から) 免許申請手数料 1,750円	
		元年10月 2日(水) ～ 10月 3日(木)		
		2年 2月18日(火) ～ 2月19日(水)		
	第二級海上特殊無線技士 (短縮コース) 注2	2年 3月26日(木)	33,430円 内訳 受講料 28,800円 消費税 2,880円 免許申請手数料 1,750円	当該コースは、受 講要件がありま す。欄外の注2を ご覧ください。
第三級海上特殊無線技士	元年 9月27日(金)	21,190円 21,550円 10/1 から 内訳 受講料 18,000円 消費税 1,440円 (1,800円 10/1 から) 免許申請手数料 1,750円		
	元年12月19日(木)			
航空	航空特殊無線技士	元年 6月 5日(水) ～ 6月 7日(金)	40,630円 41,350円 10/1 から 内訳 受講料 36,000円 消費税 2,880円 (3,600円 10/1 から) 免許申請手数料 1,750円	
		元年10月30日(水) ～ 11月 1日(金)		
		2年 1月 8日(水) ～ 1月10日(金)		

資格		実施予定日	受講料等	備考
陸上	第一級陸上特殊無線技士 (土日の講習はありません。)	元年 5月14日(火) ～ 5月23日(木)	67,630円 68,850円 10/1 から 内訳	受講要件は、欄外の注3をご覧ください。
		元年 8月20日(火) ～ 8月29日(木)	受講料 61,000円 消費税 4,880円 (6,100円 10/1 から)	
		元年 11月19日(火) ～ 11月28日(木)	免許申請手数料 1,750円	
	第二級陸上特殊無線技士	平成31年 4月24日(水) ～ 4月25日(木)	29,830円 30,350円 10/1 から 内訳	受講要件は、欄外の注3をご覧ください。
		元年 6月27日(木) ～ 6月28日(金)	受講料 26,000円 消費税 2,080円 (2,600円 10/1 から)	
		元年 9月 4日(水) ～ 9月 5日(木)	免許申請手数料 1,750円	
		元年 12月 4日(水) ～ 12月 5日(木)		
		2年 3月 4日(水) ～ 3月 5日(木)		
	第三級陸上特殊無線技士	平成31年 4月 9日(火)	22,270円	受講要件は、欄外の注3をご覧ください。
		平成31年 4月16日(火)	22,650円 10/1 から 内訳	
		元年 5月28日(火)	受講料 19,000円 消費税 1,520円 (1,900円 10/1 から)	
		元年 5月30日(木)	免許申請手数料 1,750円	
		元年 6月18日(火)		
		元年 6月25日(火)		
		元年 7月17日(水)		
		元年 7月24日(水)		
		元年 8月 6日(火)		
		元年 8月14日(水)		
		元年 9月18日(水)		
		元年 9月25日(水)		
		元年 10月 9日(水)		
元年 10月16日(水)				
元年 11月 6日(水)				
元年 11月12日(火)				
元年 12月10日(火)				
元年 12月17日(火)				
2年 1月21日(火)				
2年 1月23日(木)				
2年 2月 6日(木)				
2年 2月26日(水)				
2年 3月10日(火)				
2年 3月24日(火)				

注1：英語が免除される方は、以下のとおりです。

- 1 船舶職員（漁船の船舶職員を除く）として国際航海に2年以上従事した経歴を有する者
- 2 学校教育法による高等専門学校又は大学を卒業又は修了（修了は、大学2年の修了とする）した者
- 3 学校教育法による高等学校又は中等教育学校（中高一貫校）を卒業後、修業年限2年以上の大学等で英語を履修して卒業又は修了した者

注2：第二級海上特殊無線技士（短縮コース）を受講できる方は、以下のとおりです。

第三級海上特殊無線技士の資格を有する者又はその資格の国家試験に合格若しくは養成課程を修了した者

注3 第一級陸上特殊無線技士受講資格については、以下のとおりです。

※受講資格について

次のいずれかに該当する者であること（いずれも証明書が必要です。）

- (1) 学校教育法第1条に規定する高等学校又は中等教育学校の電気科又は電気通信科を卒業した者
- (2) 学校教育法による大学、短期大学、高等専門学校、高等学校又は中等教育学校（高等学校又は中等教育学校の電気科又は電気通信科を除く。）の電気通信に関する課程を有する学科を卒業した者
- (3) 学校教育法による大学の電気通信に関する課程を有する学科を1年次以上終了した者又は高等専門学校の電気通信に関する課程を有する学科を3年次以上終了した者
- (4) 入学資格を学校教育法57条に規定する者とする修業年限が3年以上の学校（(2)に掲げる者を除く。）の電気通信に関する課程を有する学科を卒業した者
- (5) 入学資格を学校教育法90条に規定する修業年限が1年以上の学校等（(2)又は(3)に掲げる者を除く。）の電気通信に関する課程を有する学科を卒業し、又は終了した者（「修了した者」については、1年以上を終了した者に限る。）
- (6) 第二級総合無線通信士、第三級総合無線通信士、第一級海上無線通信士、第二級海上無線通信士、第四級海上無線通信士又は航空無線通信士の資格を有する者
- (7) 受講申込み前5年以内に通算して3年以上（学校教育法による高等学校又は中等教育学校を卒業した者（(2)に掲げるものを除く。）及びこれに準ずる者の場合は1年以上）多重無線設備の保守の補助又は搬送端局設備若しくは電力線搬送端局の保守に従事した経歴を有する者。この場合において、高等学校を卒業した者に準ずる者は、学校教育法第90条第1項に規定する大学に入学することができる者とする。[（証明書様式はここをクリック）](#)
- (8) 日本無線協会が実施する第一級陸上特殊無線技士の※選抜試験に合格した者（合格通知書が必要です）。[（選抜試験はここをクリック）](#)

注4 受講者が一定の要件を満たしているときは、養成課程の一部の科目が免除される場合があります。

[（科目が免除される場合は、ここをクリック）](#)

不明な点は、06-6942-8886までお問い合わせください。

別紙2 時間割表

受付は、受講初日の08：15～08：45の間に行います。

講義は1時間又は1時間半単位で行い、講義と講義の間は10分の休憩をとります。お昼休みは50分です。(以下同じ。)

1 第一級海上特殊無線技士

期 間	時間	授業科目
1日目から3日目	0850-0900	開講の注意(1日目のみ)
	0900-1610 まで6H	英 語
4日目	0900-1210 まで3H	
	1300-1610 まで3H	法 規
5日目	0900-1210 まで3H	法 規
	1300-1400 まで1H	電気通信術
	1410-1620 まで2H	無線工学
6日目	0900-1210 まで3H	
	1300-1510 まで2H	法 規
7日目	0900-1000 まで1H	法 規
	1010-1110 まで1H	電気通信術
	1120-1220 まで1H	無線工学
	1310-1410 まで1H	英 語
	(修了試験) 1420-	修了試験は、①受話、②英語、③法規・無線工学、④送話の順に実施します。
補習・追試験	1000-1510	【補習】 法規・工学・英語・電気通信術
別途の日	1520-	【追試験】 法規・工学・英語・電気通信術

英語免除の方は、4日目の13：00からの受講となります。

2 第二級海上特殊無線技士

期 間	時間	授業科目
1日目	0850-0900	開講の注意
	0900-1410 まで4H	法 規
	1420-1740 まで3H	無線工学
2日目	0900-1410 まで4H	法 規
	1420-1630 まで2H	無線工学
	(修了試験) 1640-1810	法 規 無線工学
補習・追試験	1000-1100(法規)	【補習】 法規・工学
	1110-1210(工学)	
別途の日	1300-1430	【追試験】 法規・工学

第二級海上特殊無線技士(短縮コース)の方の講習期間は1日です。(修了試験含みます。)

3 第三級海上特殊無線技士

期 間	時間	授業科目
実施日	0850-0900	開講の注意
	0900-1410 まで 4H	法 規
	1420-1630 まで 2H	無線工学
	(修了試験) 1640-1740	法 規 無線工学
補習・追試験	1000-1100(法規)	【補習】 法規・工学
別途の日	1110-1210(工学)	
	1300-1400	【追試験】 法規・工学

3 航空特殊無線技士

期 間	時間	授業科目
1 日目	0850-0900	開講の注意
	0900-1410 まで 4H	法 規
	1420-1520 まで 1H	電気通信術
	1530-1740 まで 2H	無線工学
2 日目	0900-1110 まで 2H	無線工学
	1120-1630 まで 4H	法 規
3 日目	0900-1110 まで 2H	法 規
	1120-1220 まで 1H	電気通信術
	1310-1410 まで 1H	法 規
	1420-1520 まで 1H	無線工学
	(修了試験) 1530-1800	修了試験は、①受話、②法規・無線工学、③送話の順に実施します。
補習・追試験	1000-1100(法規)	【補習】 法規・工学・電気通信術
別途の日	1110-1210(工学)	
	1300-1400(電気通信術)	
	1300-1430(法規・工学) 1430- 電気通信術	【追試験】 法規・工学・電気通信術

4 第一級陸上特殊無線技士

期 間	時間	授業科目
1 日目	0850-0900	開講の注意
	0900-1740 まで 7H	無線工学
2・3 日目	0900-1740 まで 7H	無線工学
4 日目	0900-1410 まで 4H	無線工学
	1420-1740 まで 3H	法 規
5・6 日目	0900-1740 まで 7H	無線工学
7 日目	0900-1410 まで 4H	無線工学
	1420-1740 まで 3H	法 規
8 日目	0900-1520 まで 5H	無線工学
	(修了試験)	法 規
	1530-1750	無線工学
補習・追試験	0900-1000(法規)	【補習】 法規・工学
別途の日	1010-1110(工学) 1120-1220(工学)	
	1310-1530	【追試験】 法規・工学

5 第二級陸上特殊無線技士

期 間	時間	授業科目
1 日目	0850-0900	開講の注意
	0900-1220 まで 3H	法 規
	1310-1630 まで 3H	無線工学
2 日目	0900-1110 まで 2H	法 規
	1120-1220 まで 1H	無線工学
	(修了試験) 1310-1440	法 規 無線工学
補習・追試験	1000-1100(法規)	【補習】 法規・工学
別途の日	1110-1210(工学)	
	1300-1430	【追試験】 法規・工学

6 第三級陸上特殊無線技士

期 間	時間	授業科目
実施日	0850-0900	開講の注意
	0900-1410 まで 4H	法 規
	1420-1630 まで 2H	無線工学
	(修了試験) 1640-1810	法 規 無線工学
補習・追試験	1000-1100(法規)	【補習】 法規・工学
	1110-1210(工学)	
別途の日	1300-1430	【追試験】 法規・工学